



## 色彩館に咲く

### サンジャクバナナ

*Musa acuminata* 'Dwarf Cavendish'

バショウ科バショウ属  
原産地：東南アジア

### みんな大好きバナナ

バナナは地中に匍匐する吸枝が出る常緑多年草でアジアからオーストラリアに原生するものは40種類ほどあるといわれています。属名の「*Musa*」はアラビア語でバナナを意味する「*Mawzah*」に由来し、本種はヘラ型で真緑から灰緑色の葉を持ち、夏に洋ナシ型でクリーム色がかった黄花を咲かせる、原種よりも小型の矮性品種で沖縄では「台湾バナナ」の名前で親しまれています。一見花のように見える紫色の苞は「バナナハート」と呼ばれ、生産地の人々は野菜として食用されるそうです。

バナナの歴史は古く、紀元前5千年～1万年頃に偶然できた種のないバナナを栽培化したことが現在のバナナの始まりだとか。現在多く流通しているバナナはサンジャクバナナのもとにもなった原種である、マレー半島原産の「ムサ・アクミナータ」とフィリピン原産の「ムサ・バビルシアーナ」の2種がもとになって、またこれらが交雑したことで様々な品種が生まれまし



た。東南アジアで栽培化されたバナナはその後農業技術と共に世界中に伝播していきませんが、日本に初めてバナナがやってきたのは明治36年のことで、台湾航路の大阪商船の船員が船に積み込んだのが最初とされています。

栽培は品種によっては鉢植えで行うことができます。生育適温は18℃～31℃ぐらいなので最低温度が15℃以上になったら屋外の日当たりの良いところで肥培し水を好むので夏場はたっぷり水やりします。最低温度が15℃以下になる頃室内の日当たりのいい場所に取り込み水やりは土が乾いたらたっぷり行います。5℃以下にならないようにしましょう。カイガラムシやハダニに注意が必要です。また、一度結実した株は枯れてしますので、翌年のために子株を株分けしておきます。

現在色彩館では3株サンジャクバナナが結実しています。熟すのには数カ月かかるそうですが、ぜひ南国気分を味わいに来てくださいね。



いよいよバラの秋花の季節の到来です。

一番花の後、次の見頃は？と問われれば迷わず秋花をお勧めします。秋花の魅力は花色の発色の良さと香りでしょう。暑さに弱った小さくて苦しい夏花とは違い、涼しくなったこの時期のバラは大きさは夏花よりも大きく、昼間の気温と夜間の気温の寒暖差が大きくなるので花色が非常に濃く、また、太陽光の入射角が低くなることで花に陰影ができ、より一層バラに深みを与えてくれます。気温が低くなってくると蕾が大きくなるまでに時間がかかるため香りの成分も多く、朝露の中で見るバラは芳醇な香りです。花数は一番花には及ばずとも、秋の高い空と澄み切った空気の中ひとつひとつの花をじっくり味わう秋花は何にも代えがたい魅力を持っているように感じます。このように秋花の魅力を楽しめるのも北海道の気候があってこそ。折角北海道に住んでいるのなら秋花を存分に味わうべし！です。

秋花は香りが最高～！



今月の便り

## バラ園



暑く苦しかった夏ももう終わり。今シーズン最後の秋花の季節がやってきます。今年は病気が少なくて優秀です。9月下旬から10月上旬が見頃になりそうです。

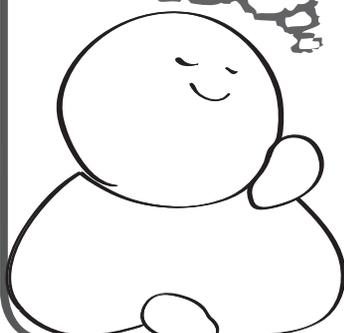
## 花と緑の供給センター

秋植えパンジー・ビオラの鉢上げも完了し、後は出荷を待つのみです。暑さが過ぎたこの季節は挿し木もしやすいのでせっせと作業が進んでいます。

## 色彩館

南国植物温室で久しぶりにバナナが結実しました。台湾バナナと三尺バナナ。まだまだ小さな青い実ですが「おいしそう」と感じるのはいしん坊だからでしょうか。

ネジバナの話



## ぐるぐる。

ネジバナは草むらにヒュルリと立っている草姿が印象的な植物です。ラン科にカテゴライズされ、よく見るとカトレアのような花形をしています。また、ヒトの生活圏に近いところで見ることができ、ラン科としては珍しいとされています。

この印象的な草姿から、学名や英名にも花のねじれている様子を表現された名前がつけられています。その他にも、ネジバナの持つ花言葉の一つに「思慕」という言葉があります。この花言葉をつけた人は、相手を想って身もだえする姿をネジバナに重ねたのでしょうか。 Miz

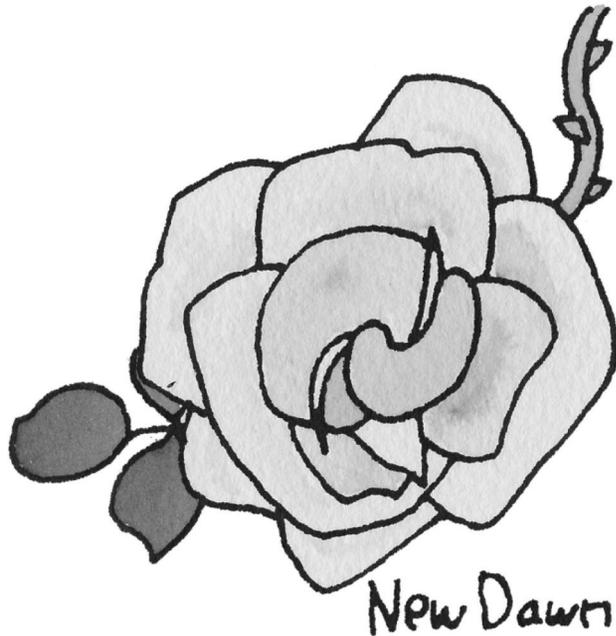
よしなしごと

# ひとつき ひとバラ



文：新堂大樹  
(いわみざわ公園バラ園)

イラスト：藤川志朗  
(イラストレーター)



## 第十八回

ラージ フラワード クライマー ローズ

### ニュー ドーン

New Dawn

作出国：アメリカ

作出者：Somerset Rose Nursery

作出年：1930年

ハーディネスゾーン：Z5

返り咲き性

交配：Dr. W. Van Fleet (HWich)

の枝変わり

花色は、柔らかなシルバーピンクで、上品な半八重のカップ咲きの花形です。軽い芳香があり、遅咲きではありますが、健康的な濃い緑色の照り葉も美しく病気にとても強い品種です。トゲが多いので扱いやすい品種とは言えませんが、耐寒性にも優れています。ニュードーンの名前を直訳すると、「新しい夜明け」という意味になります。かっこいいネーミングですよ。このバラがバラ界の「新しい夜明け」となるだろうという思いが作出者にはあったのではないのでしょうか。ニュードーンは、1910年にアメリカで発表されたハイブリッドウィクライアナ系のランブラーで「ドクター・W・ヴァン・フリート」という品種の枝変わりとして1930年に誕生しました。一季咲きである「ドクター・W・ヴァン・フリート」から生まれた返り咲きするクライマー「ニュードーン」の誕生によって、これを交配親にしたクライミングローズが多く作出されました。日本で有名な品種では、「羽衣」や「新雪」などがあげられます。また、枝変わ

りの品種としてはニュードーンレッドやホワイトニュードーンなどがあります。ニュードーンは世界バラ会連合の「バラの荣誉殿堂」に最初に殿堂入りしたつるバラとしても有名です。バラの荣誉殿堂とは、世界バラ会連合世界大会で3年に一度、会議でたった1~2品種が選ばれる、とても名誉ある賞で、これらの品種は様々な環境で育てやすい強健性や、多くの国で長く愛されていることなども選出の基準になる賞です。当園でも整形式花壇の約4メートルの支柱にメイクイーン(HWich)と一緒にニュードーンを絡ませています。足元にはニュードーンの血を引いたシュラブローズの「シーフォーム」も植えられています。どれもテリハノイバラの血が入っているので、葉の雰囲気なじみがよく、花色もとても上品な淡い色がマッチしています。7月の上旬~中旬は見事です。再整備時に大株を移植したため根が落ち着くのに時間がかかっていますが、毎年よく咲いてくれて安定感があります。また来年をおたのしみに。

第2回

# いわみざわ公園バラ園 写真展 📷 開催中！！



展示期間：8月29日(土)~9月27日(日)

場所：いわみざわ公園バラ園室内公園色彩館ホール

先日行われた写真展の作品募集において多くのご応募ありがとうございました。専門家を交えた審査の結果、優秀作品約20点の結果を展示しております。作品は写真展の後も1年間色彩館の研修室に展示します。ぜひご覧ください。

## 9月の市民園芸講座のご案内



- 9月19日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ⑦殖やして楽しむバラ  
無料 定員：40名 講師：工藤 敏博さん ローズグロワー
- 9月20日(日) 13:00~15:00 楽しいキノコの見分け方  
無料 定員：40名 講師：伊達 佐重さん 自然保護協会委員
- 9月27日(日) 13:00~15:00 草木染め講座  
有料：1500円 定員：15名 講師：木下 京子さん フラワーマスター
- 10月4日(日) 13:00~15:00 秋植え球根を楽しもう  
有料：2000円 定員：40名 講師：高橋 かつえさん フラワーマスター
- 10月4日(日) 10:00~12:00 ローズツアー 秋バラが輝くバラ園を散策 #1  
無料 定員：40名 講師：バラ園スタッフ
- 10月11日(日) 10:00~12:00 ローズツアー 秋バラが輝くバラ園を散策 #2  
無料 定員：40名 講師：バラ園スタッフ

編集・発行 空知リゾートシティ株式会社(いわみざわ公園バラ園指定管理者)  
お問合わせ いわみざわ公園バラ園 室内公園「色彩館」 0126-25-6111